



《 例会 》 毎月第 2 水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2016~2017 年度主題

International President :Joan Wilson (カナダ)
 "Our Future Begins Today" 「私たちの未来は、今日より始まる」
 Asia Area President :Tung Ming Hsian (台湾)
 "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」
 東日本区理事 利根川恵子 (川越) 「明日に向かって、今日動こう」
 北東部部長 長岡正彦 (もりおか) 「明日のために、いま土台を築こう」
 会津クラブ会長 青山孝男 「明日を楽しく、共に歩もう！」

<No.262 会津通信>
 2017 年 2 月 9 日発行

会 長 青山孝男
 副会長 高橋眞美
 書 記 高橋真人
 会 計 高橋真人

◇2月の聖句◇

イエスは人々がきて、自分を王にするために連れて行こうとしていることを知りひとりでもた山へ退かれた。
 ヨハネ福音書 6 : 1 8

2 月例会プログラム

司会；高橋 眞美ウイブ

1. 開 会 点 鐘 青山孝男会長
2. ワイズソング 一 同
3. 会長あいさつ 青山孝男会長
4. 連 絡・報 告 青山孝男会長
5. 聖句朗読 高橋 カツ
6. 食前感謝 高橋 カツ
7. 会 食
8. 懇 談 「TOF を語ろう」
9. Happy Birthday! Happy Anniversary!

あかべこ

10. 閉 会 点 鐘 青山孝男会長

「壁に耳あり 障子に目あり」
 高橋 カツ



遠い第二次世界大戦下の軍国主義一色だった頃の幾つもの思い出にこの言葉が甦る。「隣組」が結束をもたらす制度とされていたが、1940年(昭和15)の「部落会町内会等整備要綱」によって結成することが義務づけられ、国民すべての一致を目指していた。隣組は、上意下達的な情報の伝達、食糧その他生活必需品の配給、防空防火、資源回収、国民貯蓄、体位向上・厚生、そのほか戦時体制下に伴うさまざまな国民統制の末端を担っていた。結果、様々な対立分断を生んだ。社会的にのみならず、家族親族の会話にも盗聴の危険が生まれた。当然の様に話しは建前に偏り、普段の感覚も統制されるに至った。よき臣民(=天皇の国民)となる教育(洗脳)が生活を支配した。

一億総活躍社会、マイナンバー、共謀罪。この時代、これらの言葉が踊るアベ政治の衣のうちが見えてくる。会津若松市の名所・飯盛山にヒトラーユーゲント来訪の記念碑がある。ヒトラーによるホロコーストは歴史的な負の遺産だ。しかし忘れてはならないのは、ナチスの身体障害者や精神障害者が毒ガスや薬物注射で殺されたハルトハイム城の安楽死施設。「戦争は不治の病人を抹殺する絶好の機会である」とアドルフ・ヒトラーは提言していた。果てしない軍備費の増大、限りない社会保障の切り捨て。アベ政治の向きとこれらの出来事が重なって見える。

(3月号は、高橋真人メンです)

<1 月例会出席状況>

在 籍 者 5名 ゲスト 0名

出 席 者 4名

*出席率 80%

あ か べ こ 0円

16-17 年度合計 24,000 円

☆ 強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う。 ☆

会津クラブ活動より

<ユネスコ幼児画展授表式>

昨年の12月9日に第36回のあいづユネスコ幼児画展特別賞表彰式が行われた。参加施設18園から288点が出品され、22の団体が、特別賞として62展に授賞した。会津クラブも3人の幼児に賞状とメダルを授与した。その際に画題を読み上げ、感想を伝えた。各団体の代表から受け取る姿は緊張しながらもほほえましさを感じた表彰式だった。会津クラブの授賞した作品の画題は、上から「かめに のってみたいな」「ふかいうみのせかい」「らっかせいぬくとき ながーく ながった。いっぱいとれた!」です



400年以上続く会津地域最大の初市!今年も出店せず

会津地域最大の初市として、400年以上も前から続く、伝統的な行事です。約400店舗もの出店があり、店頭には起き上がり小法師、風車、市飴などの縁起物や日用雑貨、漆器、飲食物といった様々な商品が並びます。アーケードがなく発電機持参のため出店を取りやめました。当日は天候もよくこの時期には珍しい暖かい一日でした。



東日本区より

理事メッセージ

さて2月はTOF (Time of Fast)の強調月間です。「断食の時」とも呼ばれ、世界の飢餓に苦しむ人々の苦しみを覚えるとともに生活の向上を支援するため、例会の食事を抜きにして、その分の金額を国際に献金し、その年度に

定めた途上国での開発事業に捧げる活動です。現在はTOF-GPF (グローバル・プロジェクト基金)として、毎年、応募のあった事業の中から、評価・選定委員会が審議し、国際議会で承認された事業に補助金を給付しています。1973年の開始以来、ワイズメンズクラブ国際協会は、630万米ドルの支援を様々な事業にしてきました。現在は、進行中の17事業に今年度選ばれた8事業(p.3-4太田主任説明参照)を加え、合計16カ国における25事業を支援しています。居ながらにして世界の苦しむ人々を支援できる、ワイズならではの国際協力です。この事業の趣旨を理解し、今年度も多くのTOF献金が寄せられることを期待いたします。

会津の先人たち (会津若松市 HP より)

幼児教育・女子教育の先覚者

海老名 リン(えびな りん) (1849~1909)

東京婦人矯風(きょうふう)会

季昌は、警視庁から山形県や福島県の郡長などを務めた後、警視庁に戻りました。リンもそれに伴い転居し、37歳の時再び東京に帰りました。

リンは、在京の旧藩士の婦女をとおして、キリスト教を中心に、婦人の地位向上のための社会活動に触れ、39歳で洗礼を受けました。その後「東京婦人矯風会」に加わり、後に副会頭となります。

幼児・女子教育の母

社会活動をとおして、友人から幼稚園の経営を依頼されたリンは、人間形成が行われる幼児教育とその母となる女子教育の必要性を感じました。42歳で保母の資格を取得し、45歳の時、夫季昌の辞職で故郷の若松に帰り、念願の「私立若松幼稚園」を開きました。

苦しい経営の中、2年後には第1分園、さらに第2分園を設け、幼児教育に力を注いでいます。また、若松女学校は、明治42年(1909)に県立高等女学校となりました。

リンは、過労のため結核を患い、この年、61歳で亡くなりました。

次回は東京帝国大学総長・貴族院議員 山川 健次郎 (やまかわ けんじろう)氏です

◆ 今後の予定 ◆

- ◇ 3月例会 3月8日午後7時~
卓話例会
- ◇ ユニークダンス例会
3月22日午後7時~
会場: アガッセ

